

(1) 令和7年度生涯学習事業 の結果について

学習支援担当

トークフォークダンス

- 1 日 時 3月4日(水) 午前10時45分～12時35分
- 2 場 所 菁莪中学校 体育館
- 3 内 容 「町ぐるみん白岡」との共催による事業で、フォークダンスのように一定の時間で相手を変えながらおしゃべりを行うことで、年齢や立場を超えて交流を深めることができました。
- 4 参加人数 生徒(菁莪中学校3年生):36名 大人:48名



3

ペアーズアカデミー(しらおか学「白岡の伝説と民話」)

- 1 日 時 3月5日①、12日②、19日③(すべて木曜日)
- 2 場 所 ①②生涯学習センター[こもれびの森] 多目的ホール
③白岡市内
- 3 内 容 ①②白岡の伝説と民話
③白岡の伝説と民話の現地を巡る
- 4 参加人数 延べ50人



4

ウイークエンドいきいき体験教室「親子で工作、サイエンスショーを楽しもう」

- 1 日 時 3月7日(土) 午前10時30分～午後3時
- 2 場 所 日本工業大学
- 3 内 容 キャンパス内の工業技術博物館やLCセンターの見学を行いました。また、親子でバランスロボの工作や、液体窒素を使ったサイエンスショーの見学を行いました。
- 4 参加人数 8組19人



5

文化財保護担当

6

ハンズ・オン・デイ「試してみよう！黒曜石の切れ味」

- 1 日 時 3月21日(土) 午前10時～正午・午後2時～4時
- 2 場 所 生涯学習センター〔こもれびの森〕 歴史資料館常設展示室前
- 3 内 容 黒曜石を割って作ったナイフを使って鶏肉を切ってもらう体験をしてもらいました。
- 4 参加人数 72人



令和7年度

生涯学習事業結果報告書



白岡市教育委員会
教育部生涯学習課

生涯学習事業結果報告書の構成

この報告書は、教育委員会で毎年実施している点検・評価報告書をもとに作成しています。

従いまして、点検・評価報告書に準じて、施策目標、施策項目、施策の方向の順に構成しており、次のような順序で作成しています。

- 1 大項目 施策目標**
 - (1) 中項目 施策項目**
 - ① 小項目 施策の方向**

令和7年度の生涯学習事業の施策目標等は、次のとおりです。

- 1 家庭・地域の教育力の向上
 - (1) 家庭教育活動の充実
 - ① 親力の育成
 - ② 家庭教育活動における指導者育成
 - (2) 家庭・地域・学校と連携して子どもたちを育てる取組の推進
 - ① 体験的な学習機会・活動の充実
 - ② 放課後や週末などの子どもたちの居場所づくりの推進
 - ③ 地域の子育て支援活動の促進
- 2 学校教育の充実（省略）
- 3 社会教育の充実
 - (1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実
 - ① 生涯学習活動の推進
 - ② 生涯学習施設・設備の充実
 - ③ 図書館機能の充実
 - ④ 子どもの読書活動の推進
 - ⑤ 枠組みを超えた生涯学習活動の連携強化

(2) 人権教育の推進

- ① 人権教育推進体制の充実
- ② 啓発活動の充実

(3) 文化・芸術活動の促進（省略）

(4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進

- ① 文化財の総合的把握の促進
- ② 歴史文化の保存と継承
- ③ 歴史文化の情報発信・普及活用の充実
- ④ 市民との連携・協働による歴史文化の保存・活用

(5) 生涯スポーツの普及・推進（省略）

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	1 家庭・地域の教育力の向上
施策項目	(1) 家庭教育活動の充実
施策の方向	① 親力の育成
主な取組	1 家庭教育学級、家庭教育学級合同講座の充実 2 「親の学習」講座の充実 3 家庭教育学級への支援
目標	家庭や地域の教育力の向上を図るため、家庭教育学級を各小・中学校に委託し開催していた 多くとともに、教育委員会主催の家庭教育学級合同講座を2回開催します。 なお、より多くの保護者に参加していただけるような開催方法について検討し工夫していき ます。 また、「親の学習」講座については、受講者アンケートの結果を反映した講座内容を検討 し、一層の充実を図ります。 さらに、「広報しらおか」、市公式ホームページ及びSNSなどを活用して、より多くの保 護者に家庭教育や子育てに関する情報を提供できるよう努めます。
事業実績 ・成果	1 家庭教育学級、家庭教育学級合同講座の充実【重点】 家庭教育学級を各小・中学校に委託し開催するとともに、教育委員会主催で家庭教育学級 合同講座を2回開催しました。 このことにより、親力を養い、地域で安心して子育てができる環境を整備することを目的 とした家庭や地域の教育力の向上が図られました。 (1) 各小・中学校家庭教育学級 ・篠津小学校 1回 17名参加 ・菟荻小学校 2回 16名参加 ・南小学校 2回 57名参加 ・西小学校 2回 94名参加 ・白岡東小学校 1回 32名参加 ・篠津中学校 1回 12名参加 ・菟荻中学校 2回 19名参加 ・南中学校 2回 30名参加 ・白岡中学校 2回 53名参加 ※「参考になった」、「少し参考になった」と回答した保護者数・割合（247人中 245人・99.2%（未回答83人）） (2) 令和7年度家庭教育学級合同開校式及び第1回合同講座の開催 ア 演 題 「こどもの“心と体”を育む親のまなざし ～毎日のかかわりが未来をつくる～」 イ 講 師 埼玉県立大学 上原美子 教授 ウ 開 催 日 7月4日（金） エ 参加者数 58名 ※「参考になった」、「少し参考になった」と回答した保護者数・割合（57人中 51人・89.5%（未回答1人）） (3) 家庭教育学級第2回合同講座・青少年育成推進大会の開催 ア 演 題 ①「日本赤十字社の活動について」 ②「災害エスノグラフィー～災害の追体験から学ぶ～」 イ 講 師 日本赤十字社 埼玉県支部 ①振興課 振興課長 山田 祐一 氏 ②振興課 会員係長 藤崎 香奈恵 氏、 指導員 西尾 英二 氏、倉知 拓也 氏 ウ 開 催 日 11月12日（水） エ 参加者数 74人（学校関係者25人、福祉関係者46人、その他3人） ※「参考になった」、「少し参考になった」と回答した保護者数・割合（74人中71 人・95.9%）

	2 「親の学習」講座の充実 来年度の小学校新入学児の保護者を対象に、就学時健診の待ち時間を活用し、「親の学習」講座を開催しました。 また、家庭教育アドバイザーと協力し、レジュメ（①子育ての目安「3つのめばえ」、②スマホ・タブレットの利用の注意）を作成し、講義を行いました。 このことにより、親が必要とする知識を習得するための学習の場を提供し、家庭の教育力の向上が図られました。 ・篠津小学校 10月 7日 70名参加 ・菁莪小学校 9月29日 27名参加 ・南小学校 9月30日 85名参加 ・西小学校 11月11日 111名参加 ・白岡東小学校 10月28日 74名参加 ※「参考になった」、「少し参考になった」と回答した保護者数・割合（293人中238人81.2%）（白岡東小学校アンケート未実施）
	3 家庭教育学級への支援 各小・中学校に上限40,000円の委託金を交付するとともに、テーマや学習内容に係る相談、講師選定等についての助言や情報提供を行うなど、各小・中学校の家庭教育学級の運営を支援しました。 このことにより、地域社会が一体となった教育力の向上が図られました。
達成度	B

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	1 家庭・地域の教育力の向上
施策項目	(1) 家庭教育活動の充実
施策の方向	② 家庭教育活動における指導者育成
主な取組	1 家庭教育学級担当者打合せ会でのグループワークの実施 2 各小・中学校へ委託している家庭教育学級への家庭教育アドバイザーの派遣 3 「親の学習」講座への家庭教育アドバイザーの派遣 4 家庭教育アドバイザー情報交換会の実施
目標	家庭教育学級や「親の学習」講座へ家庭教育アドバイザーを派遣し、家庭教育活動の充実を図ります。 また、家庭教育アドバイザーに対しては、家庭教育アドバイザー情報交換会を実施し、家庭教育アドバイザーとの連携を図るとともに、県主催の家庭教育アドバイザー研修会への積極的な参加を促すなど、家庭教育学級や「親の学習」講座の内容を充実させることができるよう支援を行います。
事業実績・成果	1 家庭教育学級担当者打合せ会でのグループワークの実施 家庭教育アドバイザー情報交換会で調整を行い、家庭教育学級担当者打合せ会でのグループワークは実施しませんでした。 2 各小・中学校へ委託している家庭教育学級への家庭教育アドバイザーの派遣 令和7年度は、家庭教育学級への派遣はありませんでした。 3 「親の学習」講座への家庭教育アドバイザーの派遣 来年度の小学校新入学児の保護者を対象とした「親の学習」講座の開催に際し、家庭教育アドバイザーを派遣しました。 このことにより、家庭教育活動の充実が図られました。 ・篠津小学校 10月7日 動画 ・菫菺小学校 9月29日 動画 ・南小学校 9月30日 講師1名派遣 ・西小学校 11月11日 動画 ・白岡東小学校 10月28日 動画 4 家庭教育アドバイザー情報交換会の実施 市内在住の埼玉県家庭教育アドバイザーに登録されている方を対象に情報交換会を開催し、「親の学習」講座開催に向けた講義内容やレジュメ（①子育ての目安「3つのめばえ」、②スマホ・タブレットの利用の注意）を作成、配布しました。 ・第1回情報交換会 中止 ・第2回情報交換会 3月18日
達成度	B

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	1 家庭・地域の教育力の向上
施策項目	(2) 家庭・地域・学校と連携して子どもたちを育てる取組の推進
施策の方向	① 体験的な学習機会・活動の充実
主な取組	1 田んぼの学校の開催 2 自然観察会の開催 3 体験活動に係る事業の開催 4 いきいきkidsの発行
目標	田んぼの学校、自然観察会等を中心に、引き続き体験的な学習機会を提供していきます。 また、自然ふれあい体験教室については、内容や開催日、会場を工夫するなど、日帰りの体験活動にすることで、より安全でニーズに合った事業学習内容を検討し、より多くの人にとって参加しやすい内容とします。
事業実績・成果	1 田んぼの学校の開催 全4回(連続講座) 農家の方等の指導のもと、米作りを行うことにより、親子で食べ物の大切さや農業の大変さを学ぶ機会を提供し、食育の一端を担うことができました。 (1) 田植え体験 天候不順により中止 (2) 田んぼの自然観察 6月8日(日) 7組23人 (3) 稲刈り体験 9月7日(日) 6組14人 (4) しめ縄づくり・お米の試食会 11月9日(日) 7組19人 延べ 20組56人 2 自然観察会の開催 全3回 親子で自然体験を共有し絆を強め、児童生徒の世代間や異年齢交流を促す活動の機会を提供することができました。 (1) 夜の昆虫観察会 7月12日(土) 5組14人 (2) 甲虫の標本を作ろう 8月24日(日) 7組15人 (3) ひこべえの森 冬のつどい 12月13日(土) 66人 延べ 95人 3 体験活動に係る事業の開催 (1) わいわい料理教室 全3回 親子で楽しみながら調理を行うわいわい料理教室の開催により、親子の絆を深めるとともに、料理の大変さや食べ物の大切さを身をもって実感し、食への感謝をすることで、食育の一端を担うことができました。 また、料理をすることによって五感が養われ、子どもの感覚を育てる成長の機会を提供することができました。 ア ビザづくり 7月12日(土) 5組14人 7月26日(土) 3組9人 イ うどん打ち 9月27日(土) 5組13人 延べ 13組36人 (2) 「親子で工作、サイエンスショーを楽しもう」 日本工業大学との連携協定に基づき、小学校高学年の親子を対象とした体験教室を日本工業大学で実施し、科学に対する知見や好奇心を高めることができました。 3月7日(土) 8組11人 4 いきいきkidsの発行 市としてDXを推進していることから、紙ベースであるいきいきkidsの発行は行わず、市公式ホームページやSNSの活用をすることで、多くの方に事業の周知を図ることができました。
達成度	B

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	1 家庭・地域の教育力の向上																																																																	
施策項目	(2) 家庭・地域・学校と連携して子どもたちを育てる取組の推進																																																																	
施策の方向	②放課後や週末などの子どもたちの居場所づくりの推進																																																																	
主な取組	1 放課後子ども教室の充実・拡大																																																																	
目標	菁莪小学校、白岡東小学校及び新たに篠津小学校において、放課後に教室等を活用し、子どもたちが安心して過ごせる居場所を設けて、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する教室を開催します。（菁莪小学校：年16回、白岡東小学校：16回、篠津小学校：8回）																																																																	
	1 放課後子ども教室の充実・拡大 菁莪小学校、白岡東小学校及び篠津小学校において、放課後子ども教室を開催しました。このことにより、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに成長していく環境づくりを推進し、地域の子育てネットワークを構築することができました。 (1) 菁莪小学校 (参加児童数：47名（1～3年生：23名、4～6年生：24名）) <table><tr><td>ア</td><td>ドッジビー</td><td>6月 4日</td><td>22名（1～3年生）</td></tr><tr><td></td><td></td><td>7月 2日</td><td>22名（4～6年生）</td></tr><tr><td>イ</td><td>マーブルリング</td><td>7月 9日</td><td>23名（1～3年生）</td></tr><tr><td></td><td></td><td>7月16日</td><td>23名（4～6年生）</td></tr><tr><td>ウ</td><td>牛乳パック工作</td><td>9月10日</td><td>19名（1～3年生）</td></tr><tr><td></td><td></td><td>9月17日</td><td>21名（4～6年生）</td></tr><tr><td>エ</td><td>モルック教室</td><td>10月15日</td><td>19名（1～3年生）</td></tr><tr><td></td><td></td><td>10月29日</td><td>20名（4～6年生）</td></tr><tr><td>オ</td><td>理科工作</td><td>11月 5日</td><td>22名（1～3年生）</td></tr><tr><td></td><td></td><td>11月19日</td><td>23名（4～6年生）</td></tr><tr><td>カ</td><td>ペットボトル工作</td><td>11月26日</td><td>22名（1～3年生）</td></tr><tr><td></td><td></td><td>12月17日</td><td>18名（4～6年生）</td></tr><tr><td>キ</td><td>車いすバスケット体験</td><td>1月14日</td><td>20名（1～3年生）</td></tr><tr><td></td><td></td><td>1月28日</td><td>19名（4～6年生）</td></tr><tr><td>ク</td><td>漢字釣り</td><td>2月 4日</td><td>9名（1～3年生）</td></tr><tr><td></td><td></td><td>2月18日</td><td>14名（4～6年生）</td></tr></table> ※「とても楽しかった」、「楽しかった」と回答した児童数・割合（47人中20人・42.6％（未回答27人））、「来年度も参加したい」と回答した児童数・割合（47人中17人・36.2％（未回答27人、回答者のうち小6は3人））		ア	ドッジビー	6月 4日	22名（1～3年生）			7月 2日	22名（4～6年生）	イ	マーブルリング	7月 9日	23名（1～3年生）			7月16日	23名（4～6年生）	ウ	牛乳パック工作	9月10日	19名（1～3年生）			9月17日	21名（4～6年生）	エ	モルック教室	10月15日	19名（1～3年生）			10月29日	20名（4～6年生）	オ	理科工作	11月 5日	22名（1～3年生）			11月19日	23名（4～6年生）	カ	ペットボトル工作	11月26日	22名（1～3年生）			12月17日	18名（4～6年生）	キ	車いすバスケット体験	1月14日	20名（1～3年生）			1月28日	19名（4～6年生）	ク	漢字釣り	2月 4日	9名（1～3年生）			2月18日	14名（4～6年生）
ア	ドッジビー	6月 4日	22名（1～3年生）																																																															
		7月 2日	22名（4～6年生）																																																															
イ	マーブルリング	7月 9日	23名（1～3年生）																																																															
		7月16日	23名（4～6年生）																																																															
ウ	牛乳パック工作	9月10日	19名（1～3年生）																																																															
		9月17日	21名（4～6年生）																																																															
エ	モルック教室	10月15日	19名（1～3年生）																																																															
		10月29日	20名（4～6年生）																																																															
オ	理科工作	11月 5日	22名（1～3年生）																																																															
		11月19日	23名（4～6年生）																																																															
カ	ペットボトル工作	11月26日	22名（1～3年生）																																																															
		12月17日	18名（4～6年生）																																																															
キ	車いすバスケット体験	1月14日	20名（1～3年生）																																																															
		1月28日	19名（4～6年生）																																																															
ク	漢字釣り	2月 4日	9名（1～3年生）																																																															
		2月18日	14名（4～6年生）																																																															

事業実績 ・成果	(2) 白岡東小学校 (参加児童数：33名（1～2年生：14名、3～6年生：19名）) ア レクリエーション 6月12日 12名（1～2年生） 6月20日 18名（3～6年生） イ 牛乳パック工作 7月 4日 12名（1～2年生） 7月15日 19名（3～6年生） ウ ボッチャ 9月 2日 13名（1～2年生） 9月19日 19名（3～6年生） エ 茶道体験 10月 7日 14名（1～2年生） 10月18日 18名（3～6年生） オ ペットボトル空気砲 11月 6日 14名（1～2年生） 11月28日 18名（3～6年生） カ クリスマスリース作り 12月 2日 11名（1～2年生） 12月18日 19名（3～6年生） キ 漢字釣り 1月20日 14名（1～2年生） 1月28日 15名（3～6年生） ク ドッジビー 2月 3日 14名（1～2年生） 2月16日 17名（3～6年生） ※「とても楽しかった」、「楽しかった」と回答した児童数・割合（33人中15人・45.5%（未回答17人））、「来年度も参加したい」と回答した児童数・割合（33人中11人・33.3%（未回答17人、回答者のうち小6は0人））
	(3) 篠津小学校 (参加児童数：18名) ア レクリエーション 9月19日 17名 イ 牛乳パック工作 9月26日 15名 ウ ペットボトル空気砲 10月24日 16名 エ 宝とり鬼 11月13日 10名 オ しめ縄づくり 11月21日 13名 カ 年賀状作り 12月19日 12名 キ うどん打ち 1月30日 15名 ク ドッジビー 2月20日 15名 ※「とても楽しかった」、「楽しかった」と回答した児童数・割合（18人中11人・61.1%（未回答7人））、「来年度も参加したい」と回答した児童数・割合（18人中11人・61.1%（未回答7人、回答者のうち小6は0人））
達成度	A

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	1 家庭・地域の教育力の向上
施策項目	(2) 家庭・地域・学校と連携して子どもたちを育てる取組の推進
施策の方向	③地域の子育て支援活動の促進
主な取組	1 子育て・家庭教育に関わる団体（組織）との連携・協力
目標	子育て・家庭教育に関わる団体（組織）同士が課題を共有し、協力しながら活動できるよう団体間の交流の機会を設けるほか、共同事業を実施します。 また、子育て・家庭教育に関わる団体（組織）と連携・協力し、地域一体となった子育て支援活動を促進します。
事業実績・成果	1 子育て・家庭教育に関わる団体（組織）との連携・協力 地域の子育て支援組織である「町ぐるみん白岡」との共催により、「ひこべえの森冬のつどい」事業を活用し、おやじの会交流会を開催しました。 このことにより、各小・中学校各団体の課題を共有し、各団体同士の連携を深めることができ、地域一体となった子育て支援活動の促進が図られました。 また、地域の子育て支援組織であるＡＳＣにより菁莪小学校でモルック教室を実施しました。 3月には、地域の方と菁莪中学校の生徒が交流を深めるため、「町ぐるみん白岡」との共催により、トークフォークダンスを開催しました。 このことにより、家庭・地域・学校が一体となった子育て支援活動の促進が図られました。 (1) 学校応援団交流会 (今年度は実施なし) (2) おやじの会交流会 12月13日 4名（篠津中学校2名、南小学校2名） ひこべえの森冬のつどい内で実施 (3) モルック教室（放課後子ども教室として実施）（再掲） ・菁莪小学校 10月15日 19名（1～3年生） 10月29日 20名（4～6年生） (4) トークフォークダンス ・菁莪中学校 3月4日 36名（生徒）48名（大人）
達成度	B

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実
施策の方向	①生涯学習活動の推進
主な取組	1 ペアーズ！しらおかの拡充 2 社会教育委員会議の開催 3 生涯学習情報の提供 4 社会教育関係団体の支援・利用促進 5 公民館講座の充実 6 生涯学習機能、図書館機能、資料館機能の連携
目標	ペアーズアカデミーや公民館講座のほか、生涯学習センター〔こもれびの森〕の各機能の連携による事業や関係機関との連携による事業を実施し、「広報しらおか」、市公式ホームページ及びSNSなどを活用して市民の多様なニーズに対応した学習メニューや生涯学習に関する情報の提供を推進します。 また、社会教育関係団体の支援や利用促進を図り、市民の生涯学習活動を推進します。
事業実績・成果	1 ペアーズ！しらおかの拡充【重点】 生涯学習事業の基幹となる、ペアーズアカデミーをはじめ、多種多様な内容の講座を開催することで、市民に対し広く学習の機会を提供することができました。 ・ペアーズアカデミー 5講座 16回 延べ284名 2 社会教育委員会議の開催 市の社会教育行政について、社会教育委員を通して、広く市民の意見を反映することができました。 第1回会議 令和7年 7月10日(木) 第2回会議 令和7年11月13日(木) 第3回会議 令和8年 3月26日(木) 3 生涯学習情報の提供 「いつでも・どこでも・だれでも」楽しく学び合える生涯学習を推進しています。 市民の学習意欲の高まりと学習ニーズの多様化に応えるため、「広報しらおか」、市公式ホームページ及びSNSなどを活用して生涯学習情報を提供しました。 また、ボランティア精神をふまえた指導者や市内で生涯学習活動を行っている団体の情報を広く市民に提供できるよう「ペアーズバンク」を設置し、ペアーズバンクの情報を市公式ホームページに掲載し、生涯学習関連事業への市民参加意欲の向上を図りました。 (1) 「広報しらおか」、市公式ホームページ及びSNSなどを活用して生涯学習関連事業を案内しました。 (2) ペアーズバンク ア リーダー 延べ30名 イ サークル 33団体 4 社会教育関係団体の支援・利用促進 補助金の交付により、各分野における社会教育関係団体の活動の充実、発展に寄与することにより、団体活動を支援することができました。【4団体】 ・白岡市PTA連絡協議会 ・白岡市子ども会育成連絡協議会 ・白岡市人権教育推進協議会 ・「町ぐるみん白岡」

	5 公民館講座の充実【重点】 地域の学習拠点として、これまでの講座参加者からのアンケートなどの意見を参考に様々な講座を開催するとともに、要望の多い講座を開催するなど、市民に多様な学習の機会を提供することができました。 (1) 公民館前期（6～9月）講座（全14講座58回開催、延べ591名参加） ＜令和6年度参考：全14講座51回開催、延べ516名参加＞ ア 運動分野 4講座 計20回開催 延べ202名参加 イ 生活分野 1講座 計4回開催 延べ12名参加 ウ 趣味分野 2講座 計6回開催 延べ47名参加 エ IT分野 2講座 計12回開催 延べ172名参加 オ 夏休み子ども講座 2講座 計4回開催 延べ25名参加 カ 市民企画講座 3講座 計12回開催 延べ133名参加 (2) 公民館後期（10～3月）講座（全13講座62回開催、延べ660名参加） ＜令和6年度参考：全18講座72回開催、延べ782名参加＞ ア 運動分野 6講座 計33回開催 延べ353名参加 イ 趣味分野 4講座 計13回開催 延べ116名参加 ウ IT分野 2講座 計12回開催 延べ165名参加 エ 市民企画講座 1講座 計4回開催 延べ26名参加 6 生涯学習機能、図書館機能、資料館機能の連携 生涯学習機能、図書館機能、資料館機能の連携した講座等の開催により、市民の生涯学習活動の推進を図ることができました。 (1) 生涯学習機能、図書館機能の連携 各講座実施時に関連図書の展示 (2) 生涯学習機能、資料館機能の連携 ア ペアーズアカデミー（再掲） ・連携講座「感じて！縄文土器の温もり～掘り起こされた白岡遺産～」 11月6日、13日、20日（全て木曜） 延べ42名 イ 親子おもしろミュージアム（ウィークエンドいきいき体験教室事業共同開催） ・藍のたたき染め教室 8月2日 16名 ・まゆ玉でおひな様を作ろう 2月28日 8名 (3) 図書館機能、資料館機能の連携 ギャラリー企画展 （暮らしを支えた木綿と生糸～紡ぎ、織りなす白岡遺産～）連携おはなし会 10月26日、11月9日 延べ24名
達成度	B

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実
施策の方向	②生涯学習施設・設備の充実
主な取組	1 生涯学習センターの適正な維持管理 2 中央公民館の適正な維持管理 3 生涯学習センター〔こもれびの森〕内ギャラリー（企画展示室）の利用促進
目標	生涯学習センター〔こもれびの森〕及び中央公民館の適正な維持管理を行い、市民の生涯学習活動の場を提供します。幅広いニーズに対応したサービスの提供を図るとともに、家庭・地域・学校などと連携した生涯学習環境の充実に努めます。 また、生涯学習センター〔こもれびの森〕内ギャラリー（企画展示室）を市民や市内で活動する文化・芸術団体の成果発表の場として利用促進を図ることにより、それらの活動を支援します。
事業実績・成果	1 生涯学習センターの適正な維持管理 (1) 令和7年度入館者数 307,033名 (2) 自衛消防活動により火災等の被害を最小限にとどめるため、消防訓練を実施しました。 上半期 10月30日に、消火訓練、通報訓練、避難訓練を消防署の立合いがない中で実施しました。 下半期 3月26日に、消防署の立会いによる消火訓練、通報訓練、避難訓練を実施しました。 職員に対する防災教育の効果が上がるとともに、初期消火をはじめとする自衛消防活動の重要性を認識することができました。
	2 中央公民館の適正な維持管理 (1) 地域住民の生涯学習推進の拠点として、適切な管理運営を図ることができました。 ・令和7年度の来館者数 7,436団体 56,028名 （令和6年度の来館者数：5,294団体 38,663名） (2) 火災等の被害を最小限にとどめ、安心安全な施設を目指すため、職員及び受付業務の派遣職員と合同で防災・消防訓練を実施しました。 消火器の設置場所や避難経路を再確認するなど、防災意識の向上を図ることができました。 上半期 8月22日 10名参加 下半期 3月13日 8名参加 (3) 災害時の指定避難所であることから、施設の老朽化が顕著なため、必要最小限の修繕を実施し、適正な維持管理を図りました。 ・講堂冷房ラインポンプ取替修繕 ・講堂客席部分照明ランプ取替修繕 ・消火栓用ホース交換修繕 ・自家用電気工作物コンデンサ交換及び低濃度PCB含有調査 ・1階給湯室流し排水高圧洗浄 ・電気陶芸窯部品修繕 ・ロビー照明ランプ取替 ・消防設備修繕 ・2階トイレ換気扇修繕 ・学習室2ガラス修繕 ・鋼製建具ドアクローザー修繕
	3 ギャラリー（企画展示室）の利用促進 ギャラリー（企画展示室）は、市主催の企画展示のほか、芸術・文化などの分野において、精力的に創作活動を行っている市民や、市内で活動されているサークルの方々による発表の場としています。 利用頻度が高く、今年度は20団体から利用申請を受け、利用期間はほぼ埋まっている状況であり、利用者のバランス、希望に応えるためのギャラリー利用調整会議を年2回開催し、計画的なギャラリーの利用を推進しました。
達成度	B

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実
施策の方向	③図書館機能の充実
主な取組	1 計画的な資料の収集、提供 2 レファレンスサービスの充実 3 多様なニーズに対応したサービスの充実 4 バリアフリーサービスの充実 5 図書館資料、設備を活用した多種多様な学びの機会の提供 6 市民との協働による事業の実施
目標	情報収集の拠点として、効率的、計画的な資料の収集と提供を行うとともに、市民の誰もが利用しやすく、必要な情報を得られるよう、図書館サービスの充実を図ります。 社会や時代に即した図書のテーマ展示や、多種多様な学びの場の提供を行います。
事業実績 ・成果	1 計画的な資料の収集、提供 市民の幅広いニーズに対応する資料の収集・提供を行いました。 (1) 総資料数 174,652点 (2) 貸出人数 115,242人 (3) 貸出点数 390,587点
	2 レファレンスサービスの充実 レファレンスサービスの提供により、市民の学習・研究活動を支援することができました。 レファレンス件数 2,617件
	3 多様なニーズに対応したサービスの充実 これまで公民館のみで実施していた予約資料の受取サービスについて、新たに勤労者体育センター、コミュニティセンター、大山庁舎においてサービスを開始しました。このサービスに加え、市内公共施設への返却ボックスの設置、コンビニエンスストアにおける返却資料の受取サービスにより、利便性向上が図られ、市民の図書館利用を促すことができました。 (1) 公共施設における予約資料受取サービスの拡充 中央公民館のみで実施していたものを勤労者体育センター、コミュニティセンター、大山庁舎でも実施 (2) 返却ポストの公共施設への設置 (3) コンビニエンスストアにおける資料返却サービスの実施 (4) 図書館だより「こもれび通信」の発行 5回(4月、6月、8月、10月、12月、2月)
	4 バリアフリーサービスの充実 読書補助具の設置や、図書館の利用支援により、様々な理由から図書館の利用や読書に障がいのある市民の読書活動を支援することができました。 (1) 読書補助具(リーディングトラッカー、リーディングルーペ)の設置 (2) 障がいを持つ利用者に対する図書館利用支援
	5 図書館資料、設備を活用した多種多様な学びの機会の提供 東洋大学の講師派遣事業を活用した文学講座等、図書館に関連した講座の開催により、市民の生涯にわたる学習を支援するとともに、図書館利用を促進することができました。 (1) 文学講座(東洋大学講師派遣事業共催) 「『源氏物語はおもしろい!』-『女房』が見た、聞いた、そして喋った-」 10月25日 33名 (2) 歴史講座「近世白岡の領主たち」 12月4日、11日 延べ46名 (3) ファンファンシネマ(映画観賞会) 3回 延べ91名 (4) テーマ展示 ア 児童と一般を対象に季節や年間行事等とテーマとした図書の展示 イ 子ども司書や職場体験の中学生によるテーマ展示 (5) 日本工業大学との連携事業 「日本工業大学の先生がすすめる本」の展示(常設)

	6 市民との協働による事業の実施 図書館ボランティアの養成・連携強化を図るとともに、図書館ボランティアとの連携による事業を実施することで、地域に根ざした図書館サービスを提供することができました。 (1) 図書館ボランティアとの連携による事業の実施 ア おはなし会、ちいさい子のおはなし会 毎月第1～3金曜日、第2～4土曜日 イ こもれびの森まつり ウ 興善寺幼稚園図書館見学 1月15日 76名 (2) 図書館ボランティアの養成 ア 図書館ボランティア体験講座 2月7日、14日 延べ12名 イ 図書館ボランティア活動日 毎月第3土曜日
達成度	B

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実
施策の方向	④子どもの読書活動の推進
主な取組	1 図書館における子どもの読書活動の推進 2 家庭・地域・学校等における子どもの読書活動推進の支援 3 子どもの読書活動を推進する体制の整備 4 子どもの読書活動推進に関する啓発・広報の充実
目標	子どもや親子を対象とした事業を実施するとともに、家庭や地域、学校等において子どもたちが自主的に読書に親しめるよう支援します。 地域、学校等、図書館の連携強化を図り、子ども読書活動推進計画を着実に推進します。
事業実績 ・成果	1 図書館における子どもの読書活動の推進 子どもが楽しみながら本とふれあうことができる事業を実施することで、子どもたちに幅広い分野の本との出会いや、物語の面白さを体験する機会を提供することができました。 (1) おはなし会 おはなし会（3歳以上対象） 36回 延べ528名 ちいさい子のおはなし会（0～3歳対象） 35回 延べ804名 (2) 夏休み子ども講座 「友だちにすすめたい本の帯とPOPの作り方講座」 7月24日、25日 41名 (3) 子ども司書養成講座 8月8日、9日 延べ10名 (4) 子ども司書活用事業 毎月第3土曜日 (5) 第12回しらおか本の帯・POPコンクール 応募作品数：本の帯部門217点、POP部門543点 作品展示（入賞作品、一次審査通過作品）：12月12日～12月26日 (6) 図書館本の福袋 乳児、未就学児、小学生を対象に50袋を配布 1月6日 (7) 日本工業大学との連携事業 11月22日開催のこもれびの森まつりにおいて実施 「サイエンス縁日ーふしぎ実験で学ぼうー」
	2 家庭・地域・学校等における子どもの読書活動推進の支援 絵本を介した親子のふれあいを支援するブックスタート事業等により、家庭や学校等における子どもの読書活動の推進を支援することができました。 (1) 家庭における子どもの読書活動推進の支援 ア ブックスタート（ブックスタートバックの配布と読み聞かせ） 12回 283組 イ お父さんと一緒に本を読もう！ 5月25日、8月31日、11月30日、2月22日 延べ17名 (2) 学校等における子どもの読書活動推進の支援 ア 学校等への団体貸出、学校巡回サービスの実施 イ ブックトーク 1件（篠津小学校）
	3 子どもの読書活動を推進する体制の整備【重点】 市が一体となった子どもの読書活動推進に向け、地域・学校等との連携を強化することができました。 (1) 図書館ボランティア連絡会議の開催 9月25日、1月22日 (2) 白岡教育研究会専門部学校図書館部会への参加
	4 子どもの読書活動推進に関する啓発・広報の充実 子どもの読書週間にあわせたイベント開催や市内小学校の図書館見学の受入等により、子ども達の図書館や読書に対する関心を高めることができました。 (1) こどもの読書週間における事業 「みんなでとばそう！紙ひこうき！」 5月5日 20名 (2) 図書館見学、職場体験の受入 ア 図書館見学受入 小学校1校13名、幼稚園2園96名 イ 職場体験受入 中学校4校16名、特別支援学校1校4名
達成度	B

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実
施策の方向	⑤枠組みを超えた生涯学習活動の連携強化
主な取組	1 こもれびの森まつりの開催 2 各種計画との連携によるイベントの開催
目標	こもれびの森まつりや、各種計画との連携によるイベントを開催するとともに、地域、学校などと協働を推進し、生涯学習活動の連携強化に努めます。
事業実績・成果	1 こもれびの森まつりの開催 市役所周辺を会場とした市の新たなイベント「しらおか秋の彩りフェスタ」の一部として開催しました。外部組織や市民ボランティア、近隣大学との連携・協働により、多様な事業を実施することができました。また、イベントのスケールメリットにより、生涯学習センターを利用したことがないかたに施設や様々な取組みについてPRを行うことができ、生涯学習センターの利用促進を図ることができました。 11月22日（土） 約3,500名 各事業の内容等 ア 牛乳パック工作 イ ミュージアム・クイズ ウ あんぎん編み体験（2回） エ おはなし会（3回） オ 古本市 カ 布の作品の販売 キ 「サイエンス縁日ーふしぎ実験で学ぼうー」 2 各種計画との連携によるイベントの開催 各種計画との連携、地域、学校などとの協働による講座の開催により、市民の生涯学習の機会を提供することができました。 (1) 各種計画との連携 ア 子ども・子育て支援事業計画及び環境基本計画 ・自然観察会 全3回 延べ95人 夜の昆虫観察会 7月12日（土） 5組14人 甲虫の標本を作ろう 8月24日（日） 7組15人 ひこべえの森 冬のつどい 12月13日（土） 66人 イ 子ども・子育て支援事業計画及びしらおかはびすイッチプラン ・田んぼの学校 全4回（連続講座） 延べ20組56人 田植え体験 天候不順により中止 田んぼの自然観察 6月8日（日） 7組23人 稲刈り体験 9月7日（日） 6組14人 しめ縄づくり・お米の試食会 11月9日（日） 7組19人 ・わいわい料理教室 全3回 延べ13組36名 ピザづくり 7月12日（土） 5組14人 7月26日（土） 3組 9人 うどん打ち 9月27日（土） 5組13人 (2) 学校等との協働事業 ア 市内中学校 ・自然観察会 ひこべえの森 冬のつどい 12月13日 66名 篠津中学校 0名、菁莪中学校 10名、南中学校 11名、 白岡中学校 1名 イ 日本工業大学 ・「サイエンス縁日ーふしぎ実験で学ぼうー」 ・「親子で工作、サイエンスショーを楽しもう」
達成度	B

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(2) 人権教育の推進
施策の方向	①人権教育推進体制の充実
主な取組	1 白岡市人権教育推進協議会研修会の開催 2 各種人権教育研修会への参加 3 “じんけん” ふれあいコンサートの開催
目標	市人権教育推進協議会研修会等を開催し、人権教育の推進を図ります。 また、各種人権教育研修会の参加及び、“じんけん” ふれあいコンサートの開催では、多くの市民が参加できるような開催方法について検討し、人権教育を推進する体制の充実に努め、人権意識の高揚を図ります。
事業実績・成果	1 白岡市人権教育推進協議会研修会の開催 白岡市人権教育推進協議会理事会後に研修会を実施しました。 いじめ問題を「学校教育」の観点から捉えることや、子どもが権利の主体であることを踏まえて意見を聴くことの重要性等、子どもの最善の利益を第一に考えた対応や傍観者とならないための行動について理解を深め、人権意識の高揚が図られました。 (1) 演 題 「いじめ問題と子どもの権利」 (2) 日 時 令和7年7月23日(水) 午後1時30分から3時まで (3) 参加人数 57名 2 各種人権教育研修会への参加 埼葛地区人権教育推進協議会等との連携を通じ、ヤングケアラーや若者の生きづらさなど、多様化する人権課題に対する職員の意識向上を図りました。 (1) 埼葛地区人権教育推進協議会総会並びに研修会 ア 内 容 講演「ヤングケアラーの現状と必要な支援を考える」 講師：堀越栄子氏 イ 日 時 令和7年7月15日(火) (2) 東部地区人権教育実践報告会 ア 内 容 東部地区の各小中学校の人権教育実践報告を聴講 イ 日 時 令和7年7月28日(月) (3) 埼葛地区人権教育指導者研修会 ア 内 容 DVD「あなたのいる庭」視聴 講演「子ども若者の生きづらさ」(講師：青砥恭氏) イ 日 時 令和7年11月27日(木) 3 “じんけん” ふれあいコンサートの開催【重点】 第1部では、市内小中学校の児童・生徒による人権作文の発表および表彰式を行いました。第2部では、右手に「局所性ジストニア」を発症するという試練に見舞われながらも左手のみで演奏活動を行うピアニストの戸澤早百合氏を招き、ふれあいコンサート『ピアノが紡ぐ歌の物語』を開催しました。 不屈の精神で困難を乗り越え、力強く音楽に向き合う戸澤氏の姿と演奏を通じて、誰もが自分らしく生きることの尊さや、多様なあり方を尊重し合うことの大切さを学ぶきっかけとなり、人権教育の重要性を再認識することができました。 (1) 内 容 (第1部) 人権作文発表会・表彰式 (第2部) コンサート(左手のピアニスト戸澤早百合氏) (2) 日 時 令和8年1月24日(土) (3) 参加人数 181名
達成度	B

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(2) 人権教育の推進
施策の方向	②啓発活動の充実
主な取組	1 “じんけん” ふれあいコンサートの開催 2 「広報しらおか」「市公式ホームページ」などで人権教育・人権問題の啓発を実施 3 児童・生徒の人権作文集や各種啓発パンフレットの作成・配布
目標	“じんけん” ふれあいコンサートの開催やリーフレット等を作成・配布します。 また、「広報しらおか」や「市公式ホームページ」などでの人権教育・人権問題の啓発の実施や白岡市老人クラブ連合会の総会等で人権講話を行うなど、啓発活動の充実を図ります。
事業実績・成果	1 “じんけん” ふれあいコンサートの開催【重点】（再掲） 第1部では、市内小中学校の児童・生徒による人権作文の発表および表彰式を行いました。第2部では、右手に「局所性ジストニア」を発症するという試練に見舞われながらも左手のみで演奏活動を行うピアニストの戸澤早百合氏を招き、ふれあいコンサート『ピアノが紡ぐ歌の物語』を開催しました。 不屈の精神で困難を乗り越え、力強く音楽に向き合う戸澤氏の姿と演奏を通じて、誰もが自分らしく生きることの尊さや、多様なあり方を尊重し合うことの大切さを学ぶきっかけとなり、人権教育の重要性を再認識することができました。 (1) 内 容 (第1部) 人権作文発表会・表彰式 (第2部) コンサート (左手のピアニスト戸澤早百合氏) (2) 日 時 令和8年1月24日(土) (3) 参加人数 181名 2 「広報しらおか」「市公式ホームページ」などで人権教育・人権問題の啓発を実施 12月4日からの人権週間に合わせて、人権啓発記事「互いの個性を認め合う社会へ～『性の多様性』について考えてみませんか～」を、市公式ホームページに掲載しました。 性の多様性を個性としてとらえ、一人ひとりの「その人らしさ」を大切にし、誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくりを呼びかけるなどして、人権意識の高揚を図りました。 12月4日掲載 3 児童・生徒の人権作文集や各種啓発パンフレットの作成・配布 啓発品を作成し、窓口や各種研修会において配布 人権作文・標語集を作成し、市内小・中学校に2月に配布しました。
達成度	B

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進
施策の方向	①文化財の総合的把握の促進
主な取組	1 分野ごとの調査精度の向上 2 仏像、美術工芸品、建造物など未実施項目の調査の推進 3 「総合的な把握」の手法を生かした調査の推進 4 身近な文化財に気づき、誇りを持って守り伝える取組の支援 5 把握した文化財の活用を視野に入れた情報の共有化の促進 6 市民協働での調査活動やワークショップの促進
目標	これまで文化財分野ごとに行われてきた調査活動の精度を高めるとともに、行われてこなかった分野の調査活動を推進します。また、調査対象の多角的な検討や、調査成果の分野横断的な検討を行い、文化財の総合的な把握に努めることで、市民のシビックプライドの醸成を図ります。
事業実績・成果	1 分野ごとの調査精度の向上 各分野の文化財調査を推進することで、調査成果を蓄積することができました。 (1) 埋蔵文化財本発掘調査 3件 ア 清左衛門遺跡第9地点（彦兵衛） 6月12日～7月5日 イ 入耕地遺跡第17地点（白岡） 10月23日～12月10日 ウ タタラ山遺跡第12地点（白岡） 11月27日～12月2日 (2) 埋蔵文化財試掘調査 20件 (3) 出土遺物整理事業 通年 タタラ山遺跡、山遺跡ほか (4) 発掘調査報告書作成・刊行 『タタラ山遺跡（第12地点）・山遺跡（第10・13・17地点）』 (5) 自然科学分析 山遺跡第10地点出土土器種実圧痕自然科学分析 (6) 諸資料の調査・整理 ア 松原英一家旧蔵文書ほか寄贈資料 14件 イ 安楽寺所蔵文書ほか寄託資料 2件 (7) 企画展図録、歴史資料館紀要の刊行 2 仏像、美術工芸品、建造物など未実施項目の調査の推進【重点】 継続して仏像調査を推進することで、調査成果を蓄積することができました。 (1) 仏像調査 2か寺1回 ア 寶鏡寺（荒井新田） 6月5日 イ 正泉寺（柴山） 6月5日 3 「総合的な把握」の手法を生かした調査の推進 今までの調査研究とワークショップ等の成果をまとめることで、新たな白岡遺産として、「小久喜ささら獅子舞の伝統と獅子舞を支える気風」を認定することができました。 白岡市文化財保存活用地域計画で提示した関連文化財群のストーリーを踏まえ、ストーリー2の「二つの川筋を背景に勢力を伸ばした鬼窪氏」のセルフガイドを作成し、構成文化財の周知を図るとともに、今後の文化財調査の足がかりとしました。 4 身近な文化財に気づき、誇りを持って守り伝える取組の支援 文化財の管理と適切な伝承を行うため、文化財収蔵施設の維持管理に努めました。 観福寺と白岡遺産保存活用市民会議との共催で野牛地区の文化財の一般公開を行うことで、シビックプライドの醸成に資することができました。 市内の文化財を収蔵している生涯学習センター3階の一般収蔵庫及び特別収蔵庫、寄贈・寄託による館蔵資料の燻蒸作業を実施しました。 指定文化財標柱改修事業として、興善寺の標柱3本の塗り直しを実施しました。

	5 把握した文化財の活用を視野に入れた情報の共有化の促進 把握した文化財について、速やかに整理を進めることで、今後の活用に備えることができました。 埋蔵文化財調査においては、調査後の図面と写真及び出土遺物の基礎整理作業を実施しました。 仏像調査においては、調査後の調書と写真の整理を実施しました。 寄贈・寄託を受けた歴史資料や民俗資料については、目録の作成と写真記録を実施しました。 寄託資料の中で、損傷が激しい資料について、所有者の承諾を得た上で保存修復を行いました。今年度は大久保家文書「北条氏繁判物」と齋藤家文書「御鷹場絵図」について実施しました。 6 市民協働での調査活動やワークショップの促進 今までの調査研究の成果をまとめることで、観福寺と白岡遺産保存活用市民会議との共催で野牛地区の新井白石関連文化財の一般公開を行うことができました。 3や4同様、今後も関連文化財群のストーリーを踏まえながら、構成文化財を補強するための調査を順次進めていきます
達成度	A

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進
施策の方向	②歴史文化の保存と継承
主な取組	1 活用頻度の高い文化財の複製作成の推進 2 文化財伝承活動の適切な支援 3 地域と協力した適切な防災体制の構築 4 消防との情報交換体制の整備 5 白岡市文化財保存活用地域計画に関する理解の促進
目標	文化財の確実な保存と継承のために3つの取組を推進します。 1 文化財の管理と適切な伝承活動 2 文化財に関する防災・防犯活動 3 文化財保護のための体制整備
事業実績・成果	1 活用頻度の高い文化財の複製作成の推進 館蔵資料の整理を進め、複製作成すべき資料を抽出しています。 2 文化財伝承活動の適切な支援 補助金を交付することで、適切な支援を行うことができました。 指定文化財管理・修理に対する補助金交付 2件 ・山車提灯の張り替え（篠津天王様の山車・神山耕地） ・山車提灯の補充（篠津天王様の山車・横宿耕地） 3 地域と協力した適切な防災体制の構築 文化財防火訓練を実施することで、消防や地域との連携を深めることができました。 ・旧大山尋常小学校校舎（荒井新田）1月27日 参加者32名 4 消防との情報交換体制の整備 3であげた文化財防災訓練を共同で実施することができました。さらなる連携に努めています。 5 白岡市文化財保存活用地域計画に関する理解の促進 白岡市文化財保存活用地域計画に基づく「白岡遺産」をテーマとした企画展示や 白岡遺産の作り方講座を開催することで、「白岡遺産」の周知を図ることができました。 白岡遺産保存活用市民会議定期総会後に公開講演会を開催しました。 また、第2期白岡市文化財保存活用地域計画の作成作業を進めました。 (1) 企画展「感じて！縄文土器の温もり～掘り起こされた白岡遺産～」 10月13日～11月30日 (2) 白岡遺産の作り方講座 7月21日、8月17日、9月21日、10月19日 延べ21名 (3) 白岡遺産保存活用市民会議定期総会及び公開講演会 6月1日 参加者28名 (4) 白岡市文化財保存活用地域計画策定協議会 7月2日、10月29日、3月27日 (5) 地域計画文化庁協議 6月4日、9月4日、11月7日
達成度	A

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進
施策の方向	③歴史文化の情報発信・普及活用の充実
主な取組	1 文化財調査の成果の速やかな公開 2 理解しやすく、親しみやすい文化財資料の公開 3 学校との連携強化の促進 4 歴史資料館事業の充実 5 W e bを活用した情報発信の促進 6 文化財を活用した様々なイベントの推進
目標	文化財の調査成果の速やかな公表、理解しやすく親しみやすい情報発信に努めます。歴史資料館の充実や文化財を活用した様々なイベントの開催、また観光協会などと連携した新たな普及活動に努め、市民の郷土の歴史文化に対する興味関心を深めます。
	1 文化財調査の成果の速やかな公開 埋蔵文化財については、毎年度発掘調査報告書を刊行しているほか、調査成果を速報として市ホームページに掲載することで、広く周知を図ることができました。 2 理解しやすく、親しみやすい文化財資料の公開 資料画像について利用希望者の求めに応じ、テレビ番組等への画像提供を行ったり、講師派遣事業について資料を用いたりすることで、文化財と市民との距離を縮めることができました。 (1) 外部への資料提供 資料貸出 1 件、資料利用・画像提供 9 件 (2) 講師派遣 職員出前講座 4 件、歴史学習支援事業 2 件、指導者派遣 4 件 (3) 歴史的公文書の整理・目録の作成 3 学校との連携強化の促進 絵画展や歴史学習支援事業を行うことで、学校との連携を強化することができました。 歴史資料館常設展示の最終コーナー「明日を創る」に展示する児童生徒の「未来の白岡」絵画展の公募を学校に対して行い、最優秀作品を展示しました。 文化財のうち、特に児童生徒の歴史学習活動に有効なものを学校に持参し、教材として活用する「歴史学習支援事業」の実施希望を照会し、今年度は 2 件の事業を実施しました。 (1) 縄文時代・弥生時代の人々の暮らし 7 月 1 日 白岡中学校 1 年生 (2) 古い道具と昔の暮らし 1 月 2 1 日 白岡東小学校 3 年生

事業実績 ・成果	4 歴史資料館事業の充実 歴史資料館事業を継続して行うことで、文化財の活用を図ることができました。 (1) 歴史資料館主催展示 計5回 ア 企画展「感じて！縄文土器の温もり～掘り起こされた白岡遺産～」 10月13日～11月30日 イ 巡回展示「新井白石の村政～野牛領主としての横顔～」 4月27日～6月1日 会場：歴史資料館 8月21日～9月9日 会場：JR白岡駅自由通路 9月11日～30日 会場：中央公民館 ウ 季節展示「暮らしの中の戦争～戦時下の白岡～」 8月3日～10月5日 エ 季節展示「今年は午年 何事もウマくいくように」 1月16日～2月28日 (2) 定例展示解説会「ハンズ・オン・デイ」 計12回 4月19日、5月17日、6月21日、7月19日、8月16日、9月20日、 10月18日、11月22日、12月20日、1月17日、2月21日、3月21日 (すべて土曜日) (4) 親子おもしろミュージアム ア 藍のたたき染め教室 8月2日 16名 イ 繭玉でお雛様を作ろう 2月28日 8名 (5) ペアーズアカデミーにおける連携講座 1講座3回 企画展との連携講座 11月6日、13日、20日 延べ42名 (6) 資料館だより『のよみち』の発行 年4回 (7) 企画展図録、歴史資料館紀要の刊行 5 Webを活用した情報発信の促進 市公式ホームページを活用し、文化財調査成果の公開することで、歴史資料館実施事業の事前周知と事後報告についても情報発信を行うことができました。 市公式ホームページ中の市所蔵文化財の基礎的情報を掲載するデジタルアーカイブズを更新しました。 6 文化財を活用した様々なイベントの推進 4であげた歴史資料館におけるイベントのほか、学習支援担当と連携することで、ペアーズアカデミーにおいて文化財に関する講義を実施することができました。 文化財保存団体や文化財愛護団体が実施するイベントについても連携・協力に努めました。
達成度	A

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進
施策の方向	④市民との連携・協働による歴史文化の保存・活用
主な取組	1 特色ある地域の伝統行事の発掘の促進 2 地域の行事を地域で支える仕組みづくりの促進 3 担い手同士のネットワーク化の促進 4 周囲から支える仕組みづくりの促進 5 市民や地域団体の提案による文化財保護の取組の促進
目標	特色ある伝統行事を後世に伝えるために、地域の行事を地域で支える仕組みづくりを促進します。「白岡遺産」制度をその中核として、市民が主役となりうる文化財保護の仕組みづくりを促進します。 また、地域が主体となっていく取組を地域の事業者、企業などが支援し、新たな取組の創造や、団体同士の支えあいの仕組みづくりを支援することで、市民や地域団体が主体的に文化財を守り伝えていく提案型の文化財保護の仕組みづくりを促進します。
事業実績・成果	1 特色ある地域の伝統行事の発掘の促進 「白岡遺産」制度の中核を担う組織である白岡遺産保存活用市民会議の運営に係る各種を開催したことで、白岡遺産の掘り起こしと磨き上げを図ることができました。 (1) 白岡遺産保存活用市民会議設立総会及び記念講演会 6月1日 参加者28名 (2) 白岡遺産保存活用市民会議理事会 4月26日、6月1日、9月21日 2 地域の行事を地域で支える仕組みづくりの促進 1同様に白岡遺産保存活用市民会議を主体として取り組んでいく予定です。 3 担い手同士のネットワーク化の促進 1同様に白岡遺産保存活用市民会議を主体として取り組んでいく予定です。 4 周囲から支える仕組みづくりの促進 白岡遺産保存活用市民会議との共催で、文化財の一般公開や市民会議広報誌を作成したことで、広く周知を図ることができました。 (1) 野牛地区文化財一般公開 10月4日 39名 (2) 白岡遺産保存活用市民会議だより3号 300部発行 (3) 白岡遺産セルフガイドブック2 2,000部発行 5 市民や地域団体の提案による文化財保護の取組の促進 ワークショップ等を通し、市民提案型の文化財保護制度の定着を図ることができました。 今までの調査研究とワークショップ等の成果を踏まえ、新たな白岡遺産として、「小久喜さら獅子舞の伝統と獅子舞を支える気風」が認定されました。 また、白岡遺産保存活用市民会議との共催による白岡遺産の作り方講座の開催によって、市民提案による新たな白岡遺産候補の検討を行いました。 (1) 白岡遺産の作り方講座 7月21日、8月17日、9月21日、10月19日 延べ21名
達成度	A